

■ 掲示板

■ 第11回（平成23年度）財団法人材料科学技術振興財団
山崎貞一賞 候補者募集

1. 授賞対象分野

- (1)「材料」(2)「半導体及び半導体装置」(3)「計測評価」
(4)「バイオサイエンス・バイオテクノロジー」

2. 授賞対象者：

- (1) 授賞対象は、論文の発表、特許の取得、方法・技術の開発等を通じて、実用化につながる優れた創造的業績を上げている人（複数人可・総計3名以内）とします。
(2) 候補者の国籍は問わず、日本国内において業績をあげた人を授賞対象とします。
(3) 過去に応募されたことのある人でも再応募可能です。

3. 顕彰：各分野それぞれに賞状及び副賞（18金メダル・賞金300万円）を贈呈します。

4. 募集期間：平成23年2月1日から4月末日（必着）

5. その他：詳細につきましては、ホームページをご覧ください。
※検索サイトで“山崎貞一賞”と検索下さい。トップページ（<http://www.mst.or.jp/prize/>）へのリンクがすぐに見つかります。

6. 推薦書・応募書請求先、提出先：

〒157-0067 東京都世田谷区喜多見 1-18-6

財団法人 材料科学技術振興財団 山崎貞一賞事務局

TEL：03-3415-2200 E-mail：prize@mst.or.jp

FAX：03-3415-5987 URL：http://www.mst.or.jp/prize/

■ 平成23年度後期 高エネルギー加速器研究機構 物質
構造科学研究所 放射光共同利用実験課題公募

募集対象：当施設の放射光および低速陽電子を利用する実験。

主に大学等の研究者を対象としますが、科学研究費補助金の申請資格を有する企業等の基礎研究も対象となります。

応募期限：平成23年5月6日（金）

応募要領：実験課題申請システム <https://pmsweb.kek.jp/k-pas/> を利用した電子申請となります。

申請受付は平成23年4月初旬からの予定です。

具体的な申請書作成等に関する詳細については <http://www.kek.jp/uskek/apply/pf.html> を参照ください。

その他：研究成果は公表していただきます。

予算の範囲内で旅費支給等の便宜供与を行います。

問合せ先：

高エネルギー加速器研究機構

研究協力部研究協力課

共同利用支援室共同利用係

e-mail：kyodo1@mail.kek.jp

Tel：029-864-5126

■ 独立行政法人理化学研究所 准主任研究員（定年制職員）公募

独立行政法人理化学研究所では、以下の要領で准主任研究員を公募します。

1. 募集人数：若干名

2. 募集分野：研究分野は特定しません。応募者自身の自由な発想に基づく国際的視野に立った学際的な研究分野を開拓していただきます。

3. 応募資格：長期的視野を持つ、次世代の科学技術分野を創成できる自律的研究者で、研究室を主宰するのに十分な能力と研究業績を有する方。

4. 研究室と研究資：

(1) 准主任研究員は、主任研究員等とは独立に、研究室を開設し運営します。

(2) 研究室立ち上げのため、初動資金の2000万円（原則）が用意されています。

(3) 所内、所外の様々な競争的研究資金への応募が可能です。

(4) 研究活動への集中とその機動性を確保するため、准主任研究員は、主任研究員に比べて、研究所運営に関わる職務は軽減されています。

詳細は、<http://www.riken.jp/r-world/research/research/associate/index.html> をご覧ください。

5. 待遇等：年俸制（報奨金制度有り）。

通勤・住宅手当の支給有り。社会保険の適用有り。休日は、土日祝日、年末年始（12/29-1/3）、当研究所設立記念日。その他、当研究所規程による。日本学生支援機構奨学金（平成15年度までに大学院第一種奨学生に採用されている場合）の返還特別免除の対象職。科学研究費補助金の申請資格有り。

6. 勤務形態：常勤、60歳定年。勤務地は原則として、和光研究所の基幹研究所・仁科加速器研究センター又は播磨研究所の放射光科学総合研究センター。

7. 着任時期：原則、2012年4月1日

8. 選考方法：書類審査による一次選考の後、2011年8月下旬に面接セミナーを行います。選考結果は、可否に関わらず通知致します。審査内容、選考結果に関する個別の問合せはお受けできません。

9. 応募様式・その他：詳細は HP を参照して下さい。

<http://www.riken.jp/r-world/research/research/associate/2012/index.html>

10. 応募締切：2011年5月27日（金）17時（日本時間）必着

書類提出は郵送もしくは直接持参に限定。郵送の場合は必ず書留とする。E-mail、fax での申請の他、書類不備や締切後の申請は受け付けません。

11. 書類提出・問合せ先：

〒351-0198 埼玉県和光市広沢 2-1（展示事務棟 3 階）

（理）化学研究所 基礎基盤研究推進部 研究業務課

准主任研究員担当

E-mail: riken-acs@riken.jp 電話による問い合わせは不可

[個人情報の取扱について]

提出頂いた書類は、独立行政法人理化学研究所個人情報保護規程に則り厳重に管理し、採用審査の用途に限り使用され、正当な理由なく第三者への開示、譲渡及び貸与することは一切ない。

■兵庫県立大学 高度産業科学技術研究所 教員公募

1. 公募人員：准教授 1名
2. 所属部門：光・量子科学技術大講座
3. 専門分野：放射光を利用した材料分析、材料科学等に関する研究実績があり、放射光ビームラインの性能向上や応用研究を推進し、かつ放射光施設ニュースバルでのナノ構造材料物性研究および材料分析の産学連携を推進する業務能力を有する者
4. 応募資格：①博士号取得者 ②大学・大学院教育、研究指導にも情熱のある者 ③産学連携に十分な実績を持っていること

5. 着任時期：2011年10月1日

6. 提出書類：

- ①履歴書（写真添付）
 - ②研究業績の概要（1000字程度）
 - ③研究業績リスト（査読あり論文、査読なし論文、国際会議発表、解説、著書、特許、競争的資金など）
 - ④主要論文別刷り 5編（コピー可）
 - ⑤着任後の研究計画及び教育への抱負（各々1000字程度）
 - ⑥紹介可能者2名の氏名・連絡先
7. 応募締切：2011年7月1日（消印有効）

8. 書類提出及び問い合わせ先：

〒678-1205 兵庫県赤穂郡上郡町光都 3-1-2

兵庫県立大学高度産業科学技術研究所課長補佐 宮本賢一

「教員応募書類在中」と朱筆（書類返却不可）

TEL：0791-58-0249

■会告

■第15回日本放射光学会奨励賞選考結果報告

2010年9月17日開催の学術等選考委員会の選考結果として2名が推薦された。

氏名、所属、並びに、選考理由は下記の通り。

その結果を受け、第88回評議員会にて第15回日本放射光学会奨励賞の授与が承認され、第24回総会にて賞状並びに副賞のメダルが授与された。

・福田勝利（信州大学繊維学部ナノテク高機能ファイバークロスリンクセンター）

「全反射を利用する放射光 X 線分析によるナノシートの新しい構造解析法の開発と応用」

福田勝利氏は、全反射・偏光蛍光 XAFS 法と in-plane 回折法を組合せ、ナノシートの新しい 3 次元構造解析法の開発を行った。ナノシートはシート法線方向に回折周期を持たないため従来の解析法を適用するのが難しく、さらに分子レベルの厚みしかないナノシートは極微量であり、その検出には工夫が必要となる。また、ナノシートでは、その機能を左右する面内周期構造や構成元素の化学状態などの構造情報を評価することが、材料開発にとって非常に重要であると認識されている。福田氏は、ナノシートの構造を解析するために、偏光依存 XAFS と表面回折を組み合わせた新しい計測法を確立しており、放射光科学の展開にとって大きな意義がある。さらに、新しい計測法を利用して、ルテニウム酸塩、酸化チタン、酸化タングステンなどの無機ナノシートの合成や構造解析に成功し、ナノシートの積層枚数と結晶化の温度依存など、原子レベルでの結晶化機構に関する重要な知見を見出している。

福田氏は、ハード・ソフト両面での実験手法の開発から応用研究まで幅広い成果を上げており、また、研究をまとめる総合的な能力においても優れていると評価され、日本の放射光科学を支える若手の一人として今後の発展が大いに期待できる。

以上のように、福田勝利氏の放射光科学の発展に寄与する功績

は大きく、日本放射光学会奨励賞に十分値するものである。

・松波雅治（自然科学研究機構分子科学研究所極端紫外光研究施設）

「光電子分光と光反射分光を組み合わせた強相関電子系の研究」
松波雅治氏は、物性物理学の分野で最も重要なテーマのひとつである「強相関電子系の研究」に取り組んできた。松波氏の研究の特徴は、その電子状態を多角的に捉えるため、放射光を主たる光源として「硬 X 線・軟 X 線光電子分光」と「赤外—紫外光反射分光」を組み合わせることで新たな情報を引き出した点にある。具体的には、強相関 Yb 化合物の電子状態の研究で大きな成果を挙げた。

光電子分光の研究では、内殻光電子スペクトルに現れるサテライト構造の起源を、光反射スペクトルから得られる損失関数と比較する手法を提案し、解析を行った。その結果、様々な議論が行われてきた単体 Yb 金属と YbS における Yb のバルク電子状態における価数が 2 価であることをまったく矛盾のない形で証明した。さらに、YbS について 20 GPa までの圧力依存光反射スペクトルを測定し、4f 電子状態が徐々に変化しながら伝導に寄与することを見出し、その圧力誘起絶縁体—金属転移のメカニズムを解明した。

これらの研究を進めるにあたり、SPring-8 の赤外ビームライン BL43IR における超高压力下実験において中心的な役割を果たした点も高く評価できる。

以上のように、松波氏の業績は、実験手法開発、解析手法開発の両面において新たな展開を示しており、放射光科学の進展における功績は大きく、日本放射光学会奨励賞に十分値するものである。

■日本放射光学会第89回評議員会議事録

日時：2011年1月7日（金） 12：00～13：00

場所：つくば国際会議場 大会議室101

出席者：足立純一，雨宮慶幸，石川哲也，太田俊明，大橋治彦，尾嶋正治（会長），加藤政博，木村真一（会計幹事），小杉信博，小林克己，佐々木 聡，下村 理，辛 埴，大門 寛，高田昌樹，竹田美和，田中 均，生天目博文，平井康晴，間瀬一彦，水木純一郎（渉外幹事），宮原恒昱，村上洋一，八木直人，柳下 明，若槻壮市 各評議員
足立伸一（編集幹事），原田慈久（庶務幹事），木村 滋（行事幹事）

欠席者：朝倉清高，澤 博，繁政英治，藤森 淳
事務局：佐藤亜己奈（WORDS），西野三和子（WORDS）

〈審議事項〉

- 2010年度決算・2011年度予算
木村会計幹事より，2010年度決算報告および2011年度予算の説明があり，承認された。
- AFOSRR 協力口について
水木渉外幹事より，AOFSSR 協力口設置の方法について，学会の賛助会員の形で一口5万円の寄付を募り，一般会計とは別にAOFSSR 資金として管理することが提案された。これについて検討をした結果，賛助会員の形で寄付を募ることは承認されたが，現在の賛助会員とは区別する形で定義を整理する必要があるとの意見があり，今後検討することとした。
- シリーズ「検出器」の単行本出版計画
足立編集幹事より，放射光学会誌特別企画「検出器シリーズ」の単行本化について説明があり，この内容で進めることが承認された。出版費は全て榊社サイエンティフィックが負担し，学会へは印税収入が入る。本のサイズはA5，350ページ相当，初版800冊印刷，価格は5000円を予定。
- 会員異動（入会）
原田庶務幹事より，第88回評議員会以降の入会申請者に関して，正会員11名（うち学生会員5名）の報告があり，これを承認した。
- 協賛・後援について
原田庶務幹事より，本学会に対する協賛・後援依頼について報告があり，協賛4件，後援1件，共催1件を承認した。
- 第24回総会議事案
原田庶務幹事より，第24回総会の議事案について説明があり，これを承認した。
- アジア・太平洋物理学連合（AAPPS）小委員会委員選出について
尾嶋会長より，日本物理学会 AAPPS 小委員会委員長より，日本放射光学会からの委員選出依頼があったとの報告があり，高田昌樹氏を委員として選出することが承認された。
- 放射光学会パンフレット改訂について
20周年記念事業の一環として作成された放射光学会のパンフレットについて，学会の在庫が少なくなったため，発展の歴史の部分に関して誤記を修正した上で増刷することが提案され，修正箇所について確認をした。可能であれば成果の更新もしたほうがよいのではとの提案があり，これについても対応することとした。

〈報告事項〉

- JSR11・市民公開講座準備状況
木村滋行事幹事より第24回年会・合同シンポ（JSR11）および市民公開講座「放射光で迫る物質・生命の謎」の準備状況について報告があった。また，第25回年会・合同シンポ（JSR12）について，2012年1月6日（金）～9日（月）に鳥栖市民文化会館・中央公民館で開催予定であることが報告された。
- ブルーボックス発行準備状況
足立編集幹事よりブルーボックスの発刊準備状況について説明があり，2011年8月に発刊予定との報告があった。
- 放射光科学・光源計画ビジョン・ロードマップ
水木特別委員会委員長より2011年3月に放射光サイエンス将来計画特別委員会と放射光光源計画WG 合同で特別委員会（公開）を開催するとの報告があった。また雨宮WG 委員長より学術会議大型施設計画マスタープランの改定案について説明があった。メール審議の際に評議員から指摘があった部分について，一部が反映されていなかったため，まだ修正が可能かどうかを学術会議に確認し，可能な場合には修正を行うこととした。
- 会員異動（退会）
原田庶務幹事より第88回評議員会以降の退会申請者に関して正会員2名との報告があった。2011年1月7日現在での総会員数は1,367名（うち学生会員138名），シニア会員6名，賛助会員46社48口。
- 名古屋大学シンクロトロン光研究センターの進捗状況
竹田評議員より名古屋大学シンクロトロン光研究センターの進捗状況について報告があった。次回評議員会で更に詳しい報告をお願いすることとした。

■第24回（2011年）日本放射光学会総会議事録

日 時：2011年1月8日（土） 15：45～17：15

場 所：つくば国際会議場 中ホール300

出席者：出席者：85名 委任状：72名 計：157名

定款第28条により，正会員の1/10（137名）以上の参加で総会は成立。

（議事）

- 議長選出
議長に村上洋一会員を選出した。
- 2011年度会長挨拶
尾嶋会長より挨拶があり，2011年度の活動方針について所信表明があった。
- 2010年度事業報告
原田庶務幹事より2010年度の学会活動について報告があった。
- 2011年度事業計画・2011年度学会組織
原田庶務幹事より2011年度の実業計画および2011年度の学会組織（会長，幹事，評議員，各委員会）について報告があった。
- 2011年度行事活動方針
木村行事幹事より2011年度の行事活動方針について報告があった。年会・合同シンポ，放射光基礎講習会，若手研究会

を開催予定。

6. 2011年度渉外活動方針
水木渉外幹事より2011年度の渉外活動方針について報告があった。
7. 2011年度編集方針
足立編集幹事より2011年度の編集方針について報告があった。2011年8月にはブルーバックスを発刊予定。
8. 第15回学会奨励賞
下記の2名を第15回学会奨励賞の受賞者として決定した旨の報告があった。
福田勝利会員（信州大学繊維学部ナノテク高機能ファイバークロスリンクセンター）
「全反射を利用する放射光 X 線分析によるナノシートの新しい構造解析法の開発と応用」
松波雅治会員（自然科学研究機構分子科学研究所）
「光電子分光と光反射分光を組み合わせた強相関電子系の研究」
9. 2010年度決算報告
木村会計幹事より2010年度の決算報告があり、これを承認した。
10. 2011年度予算案
木村会計幹事より2011年度予算案が示され、これを承認した。
11. シニア会員承認
評議員会からシニア会員として推薦された6名のうち、逝去された山本正樹氏を除く難波孝夫氏、河野省三氏、川村春樹氏、勝又紘一氏、近藤泰洋氏の5名を承認した。
また、シニア会員制度について、現状では「長年放射光学会正会員として放射光科学に貢献してきた65歳以上の者」となっているが、例えば63歳で定年退職の場合、シニア会員になるためには2年間のブランクができてしまう。しかしシニア会員制度の本来の趣旨は定年退職後にも会員として貢献してもらうことにあり、定年退職者であれば65歳以上でなくともシニア会員として認めることとなった。
これに伴い定款が下記の通り改訂される。

(改訂前)	
定款 第2章、第6条	正会員は放射光学の分野に関して学識を有し、評議員会によってその入会が適当と認められた者とする。 賛助会員は本会の目的に賛同し、その事業を援助する者または団体とする。 購読会員は、本会の刊行する出版物の購読を希望する者または団体とする。 シニア会員は、長年放射光学会正会員として放射光科学に貢献してきた65歳以上の者で、常勤退職後も引き続き放射光の発展に貢献する意思があり、評議員会によって推薦され、総会によって決定された者とする。 名誉会員は、放射光学の分野において顕著な功績を有する者で、評議員会によって推薦され、総会によって決定された者とする。

(改訂後)	
定款 第2章、第6条	正会員は放射光学の分野に関して学識を有し、評議員会によってその入会が適当と認められた者とする。 賛助会員は本会の目的に賛同し、その事業を援助する者または団体とする。 購読会員は、本会の刊行する出版物の購読を希望する者または団体とする。 シニア会員は、長年放射光学会正会員として放射光科学に貢献してきた定年退職者で、引き続き放射光の発展に貢献する意思があり、評議員会によって推薦され、総会によって決定された者とする。 名誉会員は、放射光学の分野において顕著な功績を有する者で、評議員会によって推薦され、総会によって決定された者とする。

■会員異動

第89回評議員会（2011年1月7日）で承認

《正会員入会》

- 高橋 聡 東北大学多元物質科学研究所
山元 博子 豊田工業大学極限材料専攻極限高分子材料研究室（田代孝二研究室）
小林幸次郎 群馬大学 ATEC
鬼木 良彦 株式会社ブリヂストン
下崎 義人 高輝度光科学研究センター加速器部門
別所 義隆 理化学研究所放射光科学総合研究センター
以上6名

《学生会員入会》

- 則武 宏幸 東京大学物性研究所吉信研究室
菅谷 雄基 日本原子力研究開発機構（茨城大学連携プログラム）先端基礎研究センター 放射場生体分子科学研究グループ
木村 瑛彦 兵庫県立大学工学研究科、放射光ナノ工学研究室
佐藤 卓 筑波大学数理物質科学研究科電子・物理工学専攻喜多研究室
藤正 修司 佐賀大学シンクロトロン光応用研究センター
以上5名

《退会会員》

正会員2名

《会員数》

会員1367名（内学生138名） シニア会員6名 賛助会員46社（48口）

日本放射光学会2010年度決算書
自 2009年10月1日 至 2010年9月30日

1. 収入の部

(単位 円)

科 目	細 目	金	額
会費収入	正会員会費収入 学生会員会費収入 賛助会員会費収入 購読会員会費収入	8,450,000 210,000 2,450,000 520,800	11,630,800
会誌収入	会誌広告収入 会誌販売収入 別刷収入	1,776,598 101,860 776,009	2,654,467
年会・合同シンポ収入			11,877,790
行事開催収入	基礎講習会 若手研究会 (後援金_JST-CREST)	140,000 200,000	340,000
単行本出版収入	販売収入 (増刷版)	499,000	499,000
事業外収入	受取利息	1,340	1,340
収入の部合計			27,003,397

2. 支出の部

科 目	細 目	金	額
学会誌出版費	会誌印刷費 発送手数料・郵送料	8,608,901 897,568	9,506,469
単行本出版費	発送手数料・郵送料	59,540	59,540
学会奨励賞費	特注純銀メダル等		160,965
年会・合同シンポ支出	開催費 委員会旅費 事務管理費	6,610,969 1,199,600 1,169,675	8,980,244
行事開催費	基礎講習会 若手研究会	169,880 645,435	815,315
事業費	会議費 通信費 サーバー移行(40GB)初期費用 印刷費 事務局交通費	1,432,000 789,653 11,550 180,225 7,140	2,420,568
管理費	事務用品費 消耗品費 選挙開票アルバイト 運賃(宅急便+メール便) 支払手数料 租税公課	87,900 159,235 36,000 681,377 183,524 1,500	1,149,536
事務委託費	ホームページ維持費 Web会員名簿維持費 会員業務費 庶務業務費 行事開催業務費	252,000 138,300 690,125 800,233 44,533	1,925,191
会計業務費	税理士顧問料		460,000
諸会費等	男女共同参画協会連絡会	5,000	5,000
支出の部合計			25,482,828

3. 収支計算の部

科 目	細 目	金	額
当期収支差額			1,520,569
前期繰越金			10,662,839
次期繰越金	次期繰越金		12,183,408

2010年度資産負債明細

2010年9月30日現在

1. 資産の部

(単位 円)

科 目	細 目	金 額
1. 現金及び預金	手持現金残高	1,478,005
	郵便振替残高	2,203,534
	UFJ 銀行普通預金残高	3,437,513
	三井住友銀行普通預金残高	4,623,220
2. 会費未収金	正会員会費未収残高	1,432,000
	学生会員会費未収残高	12,000
	賛助会員会費未収残高	400,000
	購読会員会費未収残高	225,000
	会誌販売未収残高	96,204
3. 広告費未収金	広告費未収金	526,320
4. 立替金	第24回年会・合同シンポ(旅費など)	1,531,501
5. 学会誌在庫金	学会誌(創刊号-Vol. 22, No. 5) 3,160冊	3,476,000
6. 電話加入権		70,000
7. 什器備品(償却済み) 会長用 FAX 償却累計		14,111
		268,109
資産の部合計		19,525,408

2. 負債の部

科 目	細 目	金 額
1. 会費前受金	正会員会費	5,496,000
	学生会員会費	46,000
	賛助会員会費	1,800,000
負債の部合計		7,342,000

3. 剰余金の部

科 目	細 目	金 額
1. 前期繰越金		10,662,839
2. 当期収支差額		1,520,569
剰余金の部合計		12,183,408

日本放射光学会2011年度予算書
自 2010年10月1日 至 2011年9月30日

1. 収入の部

(単位 円)

科 目	細 目	金	額
会費収入	正会員会費収入	9,400,000	12,360,000
	学生会員会費収入	240,000	
	賛助会員会費収入	2,300,000	
	購読会員会費収入	420,000	
会誌収入	会誌広告収入	2,000,000	3,100,000
	会誌販売収入	100,000	
	別刷収入	1,000,000	
年会・合同シンポ収入			12,491,450
行事開催収入	基礎講習会	200,000	200,000
	若手研究会	0	
単行本出版収入	販売収入	220,000	220,000
雑収入	受取利息	1,500	1,500
収入の部合計			28,372,950

2. 支出の部

科 目	細 目	金	額
学会誌出版費	会誌印刷費 原稿料 発送手数料・郵送料	8,500,000 0 1,000,000	9,500,000
単行本出版費	発送手数料・郵送料	60,000	60,000
学会奨励賞費	特注純銀メダル等		160,000
年会・合同シンポ支出	開催費 委員会旅費 事務管理費	9,268,190 789,610 1,069,650	11,127,450
行事開催費	基礎講習会開催費 若手研究会開催費 公開市民講座開催費	200,000 500,000 320,000	1,020,000
事業費	会議費 通信費 印刷費 事務局交通費	1,500,000 700,000 200,000 60,000	2,460,000
管理費	事務用品費 消耗品費 給料手当（選挙開票アルバイト） 運賃（宅急便＋メール便） 支払手数料 租税公課	100,000 150,000 40,000 700,000 200,000 2,500	1,192,500
ワーズ事務委託費	ホームページ維持費 Web会員名簿維持費 会員業務費 庶務業務費 行事開催業務費	300,000 150,000 600,000 700,000 50,000	1,800,000
会計業務費	税理士顧問料		460,000
諸会費	男女共同参画協会連絡会		5,000
支出の部合計			27,784,950

3. 収支計算の部

科 目	細 目	金	額
当期収支差額			588,000
前期繰越金			12,183,408
次期繰越金	次期繰越金		12,771,408

日本放射光学会2011年度組織

■会長（任期：2009.10.1-2011.9.30）

尾嶋 正治（東大）

■幹事（任期：2009.10.1-2011.9.30）

庶務幹事 原田 慈久（東大）

行事幹事 木村 滋（JASRI）

編集幹事 足立 伸一（KEK）

渉外幹事 水木純一郎（原子力機構）

会計幹事 木村 真一（分子研）

■評議員

（任期：2009.10.1-2011.9.30）

雨宮 慶幸（東大）

石川 哲也（理研播磨）

太田 俊明（立命館大）

尾嶋 正治（東大）

木村 真一（分子研）

小杉 信博（分子研）

繁政 英治（分子研）

下村 理（KEK）

辛 埴（東大）

田中 均（理研XFEL）

生天目博文（北大）

間瀬 一彦（KEK）

水木純一郎（原子力機構）

村上 洋一（KEK）

八木 直人（JASRI）

（任期：2010.10.01-2012.09.30）

朝倉 清高（北大）

足立 純一（KEK）

大橋 治彦（JASRI）

加藤 政博（分子研）

小林 克己（KEK）

佐々木 聡（東工大）

澤 博（名大）

大門 寛（奈良先端大）

高田 昌樹（JASRI）

竹田 美和（名大）

平井 康晴（SAGA-LS）

藤森 淳（東大）

宮原 恒昱（日本女子大）

柳下 明（KEK）

若槻 壮市（KEK）

■行事委員（任期：2010.07.01-2011.09.30）

木村 滋（JASRI）委員長

大橋 治彦（JASRI）

岡林 潤（東大）

川村 朋晃（日亜化学）

組頭 広志（東大）

佐藤 裕介（東大）

近松 彰（東大）

平野 馨一（KEK）

■渉外委員（任期：2009.10.1-2011.9.30）

水木純一郎（原子力機構）委員長

■編集委員

（任期2009.10.1-2011.9.30）

足立 伸一（KEK）委員長

玉作 賢治（理研）副委員長

上村 重明（住友電気工業）

岡島 敏浩（SAGA-LS）

篠原 佑也（東大）

高田 恭孝（播磨理研）

高橋 嘉夫（北大）

永園 充（理研XFEL）

平岡 望（台湾BL）

広沢 一郎（JASRI）

舟越 賢一（JASRI）

矢代 航（東大）

渡邊 信久（名大）

（任期：2010.10.01-2012.09.30）

岩山 洋士（分子研）

高橋 聡（東北大）

登野 健介（理研XFEL）

原田健太郎（KEK）

藤森 伸一（原子力機構）

松村 武（北大）

水牧仁一朗（JASRI）

渡部 貴宏（JASRI）

■2011年度の主な事業計画

- 第4回 AOFSSR スクール（Cheiron School2010）
2010年10月9日-18日（於：SPring-8）
- 第24回年会・放射光科学合同シンポジウム
2011年1月7日-10日（於：つくば国際会議場）
- 第24回総会
2011年1月8日（於：つくば国際会議場）
- 第15回学会奨励賞授与
2011年1月8日（於：つくば国際会議場）
- 日本放射光学会市民公開講座
2011年1月9日（於：つくば国際会議場）
- 若手研究会公募
- 放射光基礎講習会
2011年夏季開催予定
- ブルーボックス出版
2011年度出版予定
- 評議員会（10月，1月，4月，7月）
- 幹事会（10月，12月，3月，6月）
- 編集委員会（年3回）
- 第16回学会奨励賞受賞候補者選考会議
- 次期会長・評議員選挙

• 学会誌の定期発行（年6回）

Vol. 23, No. 6/2010年11月末発行

Vol. 24, No. 1/2011年1月末発行

Vol. 24, No. 2/2011年3月末発行

Vol. 24, No. 3/2011年5月末発行

Vol. 24, No. 4/2011年7月末発行

Vol. 24, No. 5/2011年9月末発行

• 第25回年会・放射光科学合同シンポジウム（2012年1月/鳥
栖市民文化会館・中央公民館）準備

一口メモ

ヤグルマギク

キク科セントーレア属の秋播き一年草で、春から初夏にかけて、白、青、ピンク色の落ち着いた感じの花が咲くので、切り花として人気が高い。原産はヨーロッパであり、別名として、学名の“セントーレア”，トーマロコシ畑に自生しているので“コーンフラワー”，と呼ばれ、特にドイツでは国花となっている。また、絵の具がなかったころ、画家たちはこの青い花の汁を好んで使っていた。日本では鯉のぼりの竿の上についている矢車から名付けられた。

春分の日を過ぎたことから、一日ごとに日照時間が長くなります。それとともに、冬の寒さを耐えてきた木々は競うように花を咲かせ、昆虫類はその香りを感じて、花卉の蜜を一生懸命についばんでいる姿は平和な時を感じます。しかし、中東、北アフリカの国々では、民衆の力で独裁政権を倒し、新しい国家を築こうとしています。現在、グローバル30プラン（2020年までに留学生を30万人まで増やす計画）に基づき、日本各地の大学には、それらの国から多くの留学生が学んでいます。私たちが彼ら・彼女らに一言声をかけてあげることで、不安を取り除き、勉学の励みになることはささやかな国際貢献の一つになることでしょう。

(No. 98, K. Ohshima)



■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2011年 4/12-13	Improving the data quality and quantity for XAFS experiments XAFS 分光の高度化と標準化に関する国際会議	高エネルギー加速器研究機構 (KEK) 小林ホール	IUCr XAFS and SR Commissions, IXAS, JXS (Japanese XAFS Society), KEK E-mail: q2xafs@pfqst.kek.jp	24・2
4/25-26	SPring-8 次期計画ワークショップ —光源開発の現状と克服課題—	SPring-8 普及棟大講堂	物理化学研究所, 高輝度光科学研究センター E-mail: sp8-2-office@spring8.or.jp	24・2
5/22-27	第8回新材料とデバイスに対する原子レベル・キャラクタリゼーションに関する国際会議 (ALC '11)	韓国・ソウル, Olympic Parktel	日本学術振興会マイクロビームアナリシス第141委員会 E-mail: alc11@jpsps141.surf.nuqe.nagoya-u.ac.jp	23・4
5/24-27	第47回真空技術基礎講習会	大阪府立産業技術総合研究所	日本真空協会関西支部・大阪府技術協会・日本真空工業会関西支部 E-mail: yamanaka@tri.pref.osaka.jp	24・2
7/10-13	第11回 SPring-8 夏の学校 —最先端の放射光科学を学ぶ—	SPring-8	高輝度光科学研究センター, 物理化学研究所, 播磨研究所, 日本原子力研究開発機構, 量子ビーム応用研究部門, 兵庫県立大学大学院物質理学研究科・生命理学研究科, 兵庫県立大学高度産業科学技術研究所, 関西学院大学大学院理工学研究科, 東京大学放射光連携研究機構, 岡山大学大学院自然科学研究科 E-mail: 2011summerschool@spring8.or.jp	24・2
9/7-9	日本セラミックス協会秋季シンポジウム特定セッション 「新物質材料合成と構造評価設計技術」	北海道大学札幌キャンパス 高等教育推進機構	日本セラミックス協会 E-mail: ida.takashi@nitech.ac.jp	24・2

本欄では、研究会、シンポジウム、国際会議等のおしらせを募集しております。掲載ご希望の方は事務局までご連絡下さい。一記事の長さは1/2ページ以下を目安とし、様式は事務局で変更させて頂く場合がございます。

■Improving the data quality and quantity for XAFS experiments

XAFS 分光の高度化と標準化に関する国際会議

XAFS 実験法, 解析法の高度化と標準化について議論する。最前線の研究報告と議論も行い, 今後の XAFS 実験法, 解析法の正しい発展について議論し, 勧告案をまとめる。

主 催 : IUCr XAFS and SR Commissions, IXAS, JXS (Japanese XAFS Society), KEK

開催期間 : 2011年 4月21~4月13日 (11日集合, 14日解散)

開催場所 :

高エネルギー加速器研究機構 (KEK) 小林ホール

HP : <http://pfwww.kek.jp/Q2XAFS2011/index.html>

問合せ先 : E-mail : q2xafs@pfqst.kek.jp

■SPring-8 次期計画ワークショップ

—光源開発の現状と克服課題—

SPring-8 では, 2019年を目処に新たな利用研究を支える硬 X線放射光源として生まれ変わるべく, 2008年に次期計画ワーキンググループを発足させ, 計画の実現に向けた検討を進めています。2009年, 2010年には東京にてシンポジウムを開催し, 計画全体の方向性や将来展開されるサイエンスについて議論を行いました。

本ワークショップでは, 次期計画の中の加速器開発に的を絞り, 加速器の専門家を交えて深く議論することを目的とし, シンポジウムで導き出された方向性をいかに具体化し実現するかについて, ビーム物理等の観点から検討していきたいと思えます。

主な内容は, 現在ワーキンググループ内で加速器開発について詳細な検討を行っている「Lattice」「Injection」「Magnet/Vacuum」「RF」「Monitor」「Short pulse」の6つのチームからこれまでの検討結果を報告し, これらをもとに議論を進めていきます。

加速器をはじめ利用系の方々など多くの方にご参加いただき、忌憚のないご意見を伺えると幸いです。

主催：御理化学研究所

（勸高輝度光科学研究センター）

開催日時：2011年4月25日(月) PM～26日(火) AM (予定)

場所：SPring-8 普及棟大講堂

アクセス：http://www.spring8.or.jp/ja/about_us/access/

定員：100名

参加費：無料

申込方法：Webによる登録

http://www.spring8.or.jp/ja/science/meetings/2011/2019workshop_acc/

申込締切：4月21日(木)

問合せ先：

勸高輝度光科学研究センター

SPring-8 次期計画ワークショップ事務局

TEL：0791-58-0839 FAX：0791-58-0988

e-mail：sp8-2-office@spring8.or.jp

■第47回真空技術基礎講習会

実習を主にした初級者のための真空技術基礎講習会。真空の概念、真空ポンプ、計測、リークテスト等。

主催：日本真空協会関西支部・（株）大阪府技術協会・日本真空工業会関西支部

協賛：日本放射光学会，他

期日：2011年5月24日(火)～5月27日(金)

会場：大阪府立産業技術総合研究所（和泉市あゆみ野 2-7-1）

参加費：主催団体会員 52,000円

協賛団体会員 55,000円

一般 60,000円

定員：60名

申込・連絡先：

〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野 2-7-1

大阪府立産業技術総合研究所内（株）大阪府技術協会

TEL：0725-53-2329 FAX：0725-53-2332

E-mail：yamanaka@tri.pref.osaka.jp

URL：<http://www.tri.pref.osaka.jp/dantai/g-kyoukai/>

■第11回 SPring-8 夏の学校

—最先端の放射光科学を学ぶ—

SPring-8 夏の学校は、次世代の放射光利用研究者の発掘と育成を目的とし、大学院修士（博士前期）課程に在学中の学生、および学部4年生を主な対象として毎年7月に4日間の日程で開催され今年で11回目となります。

SPring-8 で活躍する最前線の研究者による講義と実習を組み合わせて行うことにより、放射光の原理と利用研究成果を学ぶと共に、放射光を使う実習によって最先端の実験を体験出来るようにカリキュラムが準備されています。

また、SPring-8 のキャンパス内では究極の X 線源である自由電子レーザー（XFEL）の建設も2011年度の供用開始をめざして

進められています。

主催：勸高輝度光科学研究センター、御理化学研究所、播磨研究所、日本原子力研究開発機構、量子ビーム応用研究部門、兵庫県立大学大学院物質理学研究科・生命理学研究科、兵庫県立大学高度産業科学技術研究所、関西学院大学大学院理工学研究科、東京大学放射光連携研究機構、岡山大学大学院自然科学研究科

後援：勸ひょうご科学技術協会

日程：2011年7月10日(日)～13日(水)

場所：SPring-8

参加費：無料（旅費・宿泊費等は自己負担）

対象：主として大学院修士（博士前期）の学生と学部4年生

定員：60名程度

申込：

4月15日(金)～5月20日(金) (予定) On-line 登録での受付

<http://www.spring8.or.jp/ja/science/meetings>

⇒ 第11回 SPring-8 夏の学校（HPは3月中旬に up 予定）

問合せ先：

勸高輝度光科学研究センター（JASRI/SPring-8）

研究調整部 SPring-8 夏の学校事務局

〒679-5198 兵庫県佐用郡佐用町光都 1-1-1

TEL：0791-58-0987 FAX：0791-58-0988

E-mail：2011summerschool@spring8.or.jp

■日本セラミックス協会秋季シンポジウム特定セッション「新物質材料合成と構造評価設計技術」

物質や材料に関する科学技術は、物質情報社会を根底から支える基盤である。既存の材料では得られなかった新たな特性を有する材料や、こうした材料開発の源となる新規物質の開拓は、大きな社会変革をもたらす可能性を秘めている。本特定セッションの開催は、未だ具体的な用途や応用が明らかにされない新規物質の開発研究も含め、セラミックス分野における新素材・材料の特性評価や機能性向上に関する研究、これらの研究開発に欠くことのできない物質・材料の構造解析および評価技術、さらに機能性物質・材料やそれらの製造プロセスを設計する手法に関する研究の成果を発表する機会となる。新物質の設計および先進的な合成法の開発、合成プロセスの最適化のいずれの段階においても、最新の構造評価・設計技術を応用することにより、より合理的かつ先駆的な成果の実現が期待される。一方で、新しい物質の構造評価は、構造解析評価技術の新しい展開および新規技術の開発を方向づけるものであり、新物質合成分野と評価解析分野の研究者間の情報交流は、互いの研究の発展にとって必要不可欠な意義を持つ。また、新規物質・材料の発明、新しい合成法の開発、計算機科学的手法および X 線回折法、中性子回折法、電子顕微鏡法の応用は、いずれも広い学術分野にわたる学際的な課題であるとともに、近年個々の要素技術が急速に高度化している面があり、この観点からも本セッションの開催は重要性が高いものである。

主催：日本セラミックス協会

協賛：日本放射光学会，他

会期：2011年9月7日(水)～9月9日(金)

会場：北海道大学札幌キャンパス 高等教育推進機構

(〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目)
発表申込締切り：5月下旬
URL：http://www.ceramic.or.jp/ig-syuki/index.html
問合せ先：
名古屋工業大学セラミックス基盤工学研究センター

井田 隆
〒507-0071 岐阜県多治見市旭ヶ丘10-6-19
TEL：0572-27-6811 FAX：0572-27-6812
E-mail：ida.takashi@nitech.ac.jp

● 会誌オンライン利用方法に関するご案内 ●

編集委員長 足立 伸一
渉外幹事 水木純一郎

オンライン会誌にアクセスするには、放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックし、会員専用ページにアクセスする必要があります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID：jsr242

Password：neS4i7aT

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある、学会誌「放射光」のオンライン閲覧をクリックして頂ければ、オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等ございましたら、水木 (mizuki.junichiro@jaea.go.jp) までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は、足立 (shinichi.adachi@kek.jp) までお願いします。